

## 熊野の森再生植樹

～紀伊半島大水害から 15 年を迎えて～



令和 8 年 5 月 28 日 (木)

和歌山県田辺市本宮町上切原

(下モ谷民有林直轄治山事業地)

和歌山森林管理署・三里小学校

## 目的

紀伊半島大水害から15年目を迎え、各地の災害現場では復旧が進んでいます。本宮町上切原にある災害箇所（下モ谷民有林直轄治山事業地）においても復旧を進めており、災害は過去のものになろうとしています。災害の経験と教訓を風化させないためにも、後世に語り継ぎ、将来想定される災害に備える必要があります。紀伊半島大水害を経験していない子供達に、地元で起こった災害箇所において防災学習の実施、現地での植樹等を行うことで、防災意識の高揚や治山事業の理解を深めていただくことを目的とします。

## 次第

- 1 和歌山森林管理署長あいさつ (10 : 00 - 10 : 05)
- 2 防災学習 (10 : 05 - 10 : 25)
- 3 記念植樹 (10 : 25 - 10 : 45)  
(1人あたりクマノザクラ、ウバメガシの2本を植樹)
- 4 ユンボ操作、高所作業車搭乗体験 (10 : 45 - 11 : 25)  
(株式会社 泉組)
- 5 ふりかえり (11 : 25 - 11 : 35)
- 6 あいさつ (三里小学校) (11 : 35 - 11 : 40)